

## 品種紹介

雪印種苗株式会社 宮崎研究農場 森 由加里

# 新たな晩生品種の登場！新品種「スノーデントにきまる」と「スノーデント凄夏」の2025年の試験評価の紹介

## ●ポイント

- ・「スノーデントにきまる」は一般地、西南暖地で利用できる晩生品種で、茎葉収量が良く、罹病すると収量を低下させる南方さび病やワラビー萎縮症への耐性に優れる
- ・遅播きから夏播きで利用できる「スノーデントにきまる」を組み込んだ栽培体系の紹介
- ・2025年試験での「スノーデント凄夏」は、収量性、耐病性に優れており、生産者様からも好評をいただいた

## 1. はじめに

いつも当社の飼料用トウモロコシ、スノーデントシリーズをご愛顧いただきありがとうございます。近年の夏は年々暑さを極めていますが、2025年は暑さに加え、降水量が少ない梅雨や局地的な豪雨といった現象もみられました。そのため、播種や管理が難しい年だったのではないかでしょうか。トウモロコシにおいては、梅雨時期の降雨による湿害が気になる5月から7月、台風による倒伏が発生する8月から9月は、一年間のうちでも特に生育に気を遣うと思います。

当社は全国のさまざまな試験地で、地域に合った飼料作物の品種を試験に供試し、生育、耐病性、収量性などを数年かけて評価し、販売品種を選定しています。環境が異なる地域、変化をする気象条件下でも安定したパフォーマンスを見せる品種を見つけることは容易ではありません。その中で2026年より、遅播きから夏播き栽培に適する「スノーデントにきまる（品種SH1982）」（以下、にきまる）が、スノーデントシリーズに新たなラインナップとして加わります。

今回の記事では、「にきまる」の品種特性や利用方法のご紹介と、昨年から新発売の「スノーデント凄夏（品種SM6343）」（以下、凄夏）の2025年の試験評価の一部をご紹介いたします。

## 2. スノーデントにきまるの特徴

「にきまる」は、「スノーデント夏皇（品種SH2933）」（以下、夏皇）と同じ晩生品種です。しかし、西日本地区限定販売の「夏皇」とは異なり、西南暖地だけではなく都府県一般地での利用も可能な品種です。播種適期は、西南暖地では5月中旬～8月上旬、一般地では6月上旬～7月下旬までです。

高温多湿条件で発生するごま葉枯病への耐性は「夏皇」と同等ですが、雌穂収量やサイレージの品質、栄養価に影響を与える黒穂病への耐性に優れています（表1、2）。また九州の一部地域では、夏播きで栽培されるトウモロコシにワラビー萎縮症という病気が発生し、問題になっています。この病気はフタテンチビヨコバイというヨコバイの一種が原因で、感染すると株の萎縮や葉脈の隆起が見られ、生育の抑制によって収穫が著しく減少します。新しく発売される「にきまる」はこの病気に強い品種で、抵抗性品種である「夏皇」と同程度の耐性を持っています（表2）。

さらに、遅播きから夏播きの生育後半に発生する南方さび病にも「夏皇」と同程度の耐性を有しているため、それらの発生地域でも問題なく利用できます（表2）。

一方、収量性に関しては稈長が「夏皇」よりも20cmも高いため、九州の遅播きでは「夏皇」にやや劣るものの関東の遅播き、九州の夏播きでは総体乾物収量が高く、特に茎葉収量が高いです（図1、写真1）。総体乾物率は「夏皇」と比べると若干低いですが、他の夏播き品種と同等のレベルのため、夏

表1 スノーデントにきまるとスノーデント夏皇の生育に関する特性の比較

商品名	初期生育	絹糸抽出期（2024年）			稈長(cm)	着雌穗高(cm)	総体乾物率(%)
		九州5月播き	関東6月播き	九州夏播き			
スノーデント夏皇	5.9	7/27	8/26	9/23	226	128	32.2
スノーデントにきまる	6.1	7/28	8/27	9/23	248	138	29.6

スコアは9：良好—1：不良を示す

絹糸抽出期：九州5月：当社宮崎研究農場（宮崎県北諸県郡三股町）、関東6月：当社千葉研究農場（千葉県千葉市）、九州夏：当社宮崎研究農場

初期生育、稈長、着雌穗高、総体乾物率：当社宮崎研究農場、熊本試験地（熊本県合志市）、千葉研究農場、那須試験地（栃木県那須郡那須町）

表2 スノーデントにきまるとスノーデント夏皇の耐病性の比較

商品名	ごま葉枯病		ワラビー萎縮症		南方さび病		黒穂病
	宮崎（2023年）	那須（2024年）	宮崎（2023年）	宮崎（2024年）	熊本（2023年）	熊本（2024年）	宮崎（2023年）
スノーデント夏皇	7.7	9.0	7.6	7.4	7.3	6.0	6.3
スノーデントにきまる	8.3	8.7	7.5	7.2	7.7	6.3	8.7

スコアは9：良好—1：不良を示す

当社宮崎研究農場、熊本試験地、那須試験地

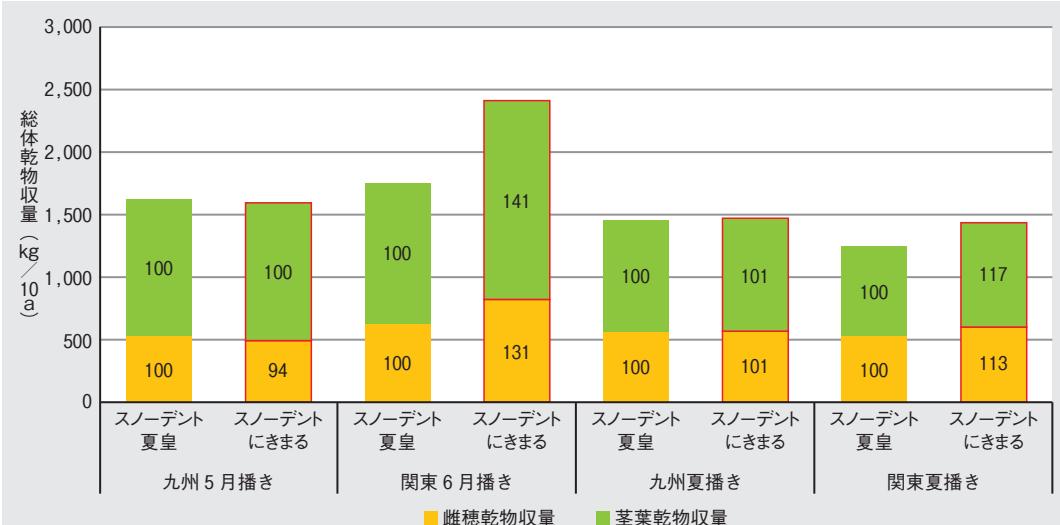


図1 スノーデントにきまると当社品種の各播種期における収量の比較

九州5月：2022～2024年当社宮崎研究農場

関東6月：2022～2024年当社千葉研究農場、当社那須試験地

九州夏：2022～2024年当社宮崎研究農場、熊本試験地、関東夏：2023～2024年当社千葉研究農場

グラフ上の数値は各播種期のスノーデント夏皇の収量を100とした時の比を表す。



写真1 スノーデント夏皇（左）とスノーデントにきまる（右）の草姿（2025年度 当社宮崎研究農場）

播きでも問題なく利用できます（表1）。現地試作の結果、「夏皇」と同等の特性であり、「夏皇」からの利用の切り替えも問題ないことが確認できています。先述した通り、九州の夏播きではワラビー萎縮症や南方さび病の抵抗性を有している品種を選定することが重要であり、それらが安定した収量につながります。夏播きでは、これらの病害に強い「にきまる」の利用をご一考していただけますと幸いです。

次に雌穂ですが、見た目の特徴としては若干シリムながらも粒列の揃いが良く、捻実性にも優れています（写真2）。また、ハスクが雌穂の先端でしっかりと閉じている

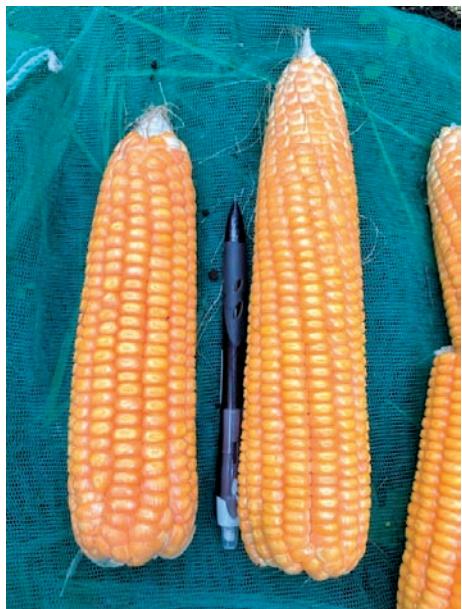


写真2 スノーデント夏皇（左）とスノーデントにきまる（右）の雌穂（2025年度 当社那須試験地）



写真3 スノーデントにきまるの雌穂（ハスク付き）（2025年度 当社宮崎研究農場）

ため上部からの虫の侵入による食害が少なく（写真3）、カビの発生も少ないのが特徴です。

栽培に関しては、栽植密度は10aあたり6,500本後に設定していただくことを推奨しております。また、除草剤は、「夏皇」と同様にワンホープ乳剤の使用は避けてください。

### 3. 「スノーデントにきまる」を組み込んだ作付け体系

#### （1）一般地

##### ①イタリアンライグラス後の「にきまる」の利用

10月中旬にイタリアンライグラスを播種し、越冬後の春に1番もしくは2番草まで収穫します。その後、6月に「にきまる」を播種し、10月上旬に収穫する体系です。その後は播種適期が11月までと長いライムギが利用できます。

なお、イタリアンライグラスの2番草まで収穫する予定の場合は、1回目の収穫が4月中旬頃となる早生品種（例：タチユウカ（品種SI-14<sup>\*\*</sup>）、タチマサリ）の利用を推奨いたします。

##### ②二期作トウモロコシでの「にきまる」の利用

3月下旬にRM110～115のトウモロコシ品種（例：スノーデント110～115）を播種し、7月中旬から8月上旬に収穫します。その後、「にきまる」を播種し、11月から12月にかけて収穫します。しかし、秋からは気温の低下とともに登熟の進みが緩慢になり収穫適期である黄熟期に達しない場合があります。

高水分でのサイレージ調製をする際には、当社乳酸菌資材のサイマスター<sup>®</sup>シリーズの利用によりサイレージ品質の低下を防ぐことができるため、併せてご確認ください。

「にきまる」の収穫後は堆肥の散布が可能であり、翌年の栽培に向けて圃場準備の期間を十分に設けることができます。

#### （2）西南暖地

##### ①二期作トウモロコシでの「にきまる」の利用

3月下旬から4月上旬までにRM110～120のトウモロコシ品種（例：スノーデント110～120）を播種し、7月中旬から8月上旬に収穫します。その後、「にきまる」を播種し、11月に収穫します。夏播きに適した「にきまる」を二期作目に作付けし、高TDN、発酵品質の高いトウモロコシサイレージを年に2回生産できる体系であり、一作目を台風リスクが比較的少ない時期に収穫できる点が利点です。

##### ②「にきまる」とイタリアンライグラスを組み合せた利用

5月に播種し9月に収穫する「にきまる」と10月に播種し4月に収穫するイタリアンライグラスを組み合わせた作付け体系です。

10月中旬から下旬の間に早生や中生のイタリアンライグラスを播種し、翌年の4月に収穫します。その後5月に「にきまる」の播種をして9月上旬に収穫し、10月中旬からイタリアンライグラスを播種す

るという輪作体系です。この体系は、イタリアンライグラスの収穫と「にきまる」の収穫から次の播種までに1か月ほど期間があるため、年に二回堆肥を投入することができます。

### ③「にきまる」と晚夏播きムギ類+イタリアンライグラスの混播での利用

9月に播種し4月に収穫する「ムギ類+イタリアンライグラス」と5月に播種し9月に収穫する「にきまる」を組み合わせた作付け体系です。

②と似た体系ですが、9月中旬から下旬の晩夏に播種をすれば年内に収穫できる極早生エンバク（例：ウルトラハヤテ韋駄天（品種韋駄天\*））や極早生オオムギ（例：ワセドリ2条）とイタリアンライグラスを混播し、12月にムギ類を主体に一回目の収穫を行い、翌年の4月にイタリアンライグラスの二回目の収穫を行います。5月に播種する「にきまる」収穫後から晩夏播き極早生エンバクまでの期間が短いですが輪作も可能であり、イタリアンライグラスの収穫後に堆肥の投入もできます。

## 4. 2025年のスノーデント凄夏の評価

2018年に終売した「スノーデント王夏（品種SH9904）」以来のフルシーズン向け品種として2025年春より新発売となった「凄夏」は、多くの生産者様に好評をいただいております。本記事では当社試験地での昨年の試験結果を交えて、実際に利用していただいた生産者様の評価を紹介いたします。

まず、トウモロコシを4月と5月に播種した当社宮崎研究農場（宮崎県北諸県郡三股町）周辺は、6月上旬に降雨が集中し、平年の約3倍の降水量とな

りました。播種直後～生育初期の大量の降雨は個体を枯死させる苗立枯症を発生させますが、罹病率が44.5%となった他品種Aと比べて「凄夏」は1.7%と苗立枯症への優れた耐性を発揮しました（表3）。収量の面では、4月播きで他品種Aより「凄夏」が多収、5月播きで他品種Aと同等レベルでした（図2）。

次に4月に播種をした当社千葉研究農場（千葉県千葉市稻毛区長沼原町）周辺は、全体的に平年より高温となり、梅雨時期となる6、7月に降雨量が少なかったためか初夏の段階から気温が上昇し続け、かなり厳しい暑さとなりました。また、降雨の影響では生育初期の湿害がよく上げられますが、トウモロコシの開花期と絹糸抽出期に降雨が続くと受粉が十分に行えず、不稔率が高まることもあります。しかし、当社千葉研究農場の4月播きでは「凄夏」の雌穂の不稔率は3.7%となり、捻実性に問題はありませんでした（表3）。

そして6月に播種をした栃木県那須郡那須町の試験地周辺は、九州と比べると気温も低く、雨量も少ない冷涼な地帯です。この地域は日中と夜間の気温差が大きく、特徴的な気候の影響を受ける那須試験地では他の試験地と違い、稈長が3mを超え特に大柄な草姿となります（表3、写真4）。今年の「凄夏」は品種Aより40cm程度高くなり、茎葉、雌穂の乾物収量も品種Aより多収となりました（表3、図2）。

今年の試験を通して高い収量性を示した「凄夏」ですが、実際にご利用いただいている生産者様からも、「前年使っていた品種よりロールサイレージがたくさん作れた」、「収量性が良く、満足してい

表3 2025年のスノーデント凄夏の試験結果

播種期	商品名	総体生収量 (kg/10a)	総体乾物収量 (kg/10a)	総体乾物率 (%)	雌穂不稔率 (%)	稈長 (cm)	苗立枯症罹病率 (%)
宮崎 4月播き	他品種A	5,778	2,073	36.0	2.8	219	2.0
	スノーデント凄夏	6,261	2,090	33.4	2.3	240	0.0
千葉 4月播き	他品種A	6,715	2,493	37.1	6.0	232	—
	スノーデント凄夏	7,747	2,462	31.8	3.7	255	—
宮崎 5月播き	他品種A	5,341	1,683	31.5	9.4	220	44.5
	スノーデント凄夏	5,633	1,723	30.6	5.0	236	1.7
那須 6月播き	他品種A	7,545	1,580	20.9	15.5	281	—
	スノーデント凄夏	8,451	1,916	22.7	4.2	327	—

「-」は未調査を表す

宮崎 4月、5月播き：当社宮崎研究農場

千葉 4月播き：当社千葉研究農場

那須 6月播き：当社那須試験地

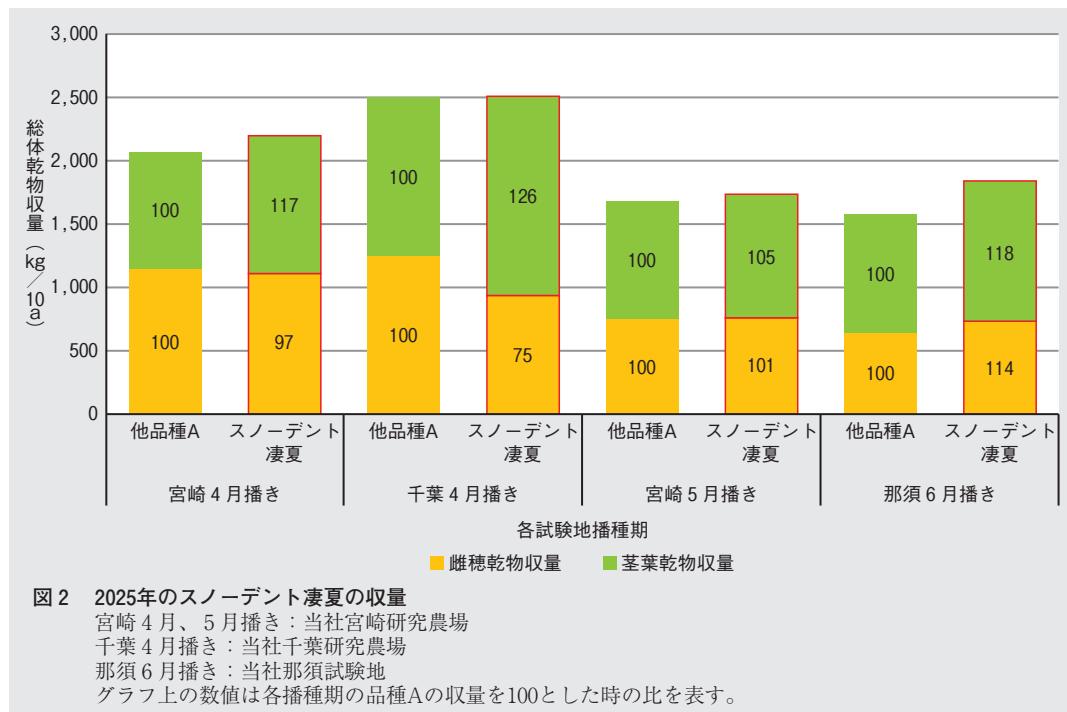


写真4 スノーデント凄夏の草姿（2025年度 当社那須試験地）

る」との良い評価をいただいております。

「凄夏」の特徴については、2025年1月に発行した「牧草と園芸（第73巻第1号）」にて収量性や耐病性を当社品種と比較しつつ紹介しております。過去のアーカイブはPDF形式で当社ホームページにて確認ができますので、興味のある方はご覧ください。

## 5. おわりに

本記事では、2026年春より新発売となる「にきまる」の特徴や、今年の「凄夏」の評価について紹介いたしました。

近年、気温上昇の影響が夏だけではなく春にも及んでおり、早春に高温となる日がみられるようになっております。「にきまる」が属する晩生品種は主に暖かい西南暖地での利用が中心ですが、今後の気候変動によっては、一般地での利用が増えてくることも考えられます。また、記事の中で説明したワラビ萎縮症や南方さび病の発生地が拡大する可能性もあります。そのため、現在利用している品種だけではなく、当社のさまざまな品種に注目していただけますと幸いです。

今回紹介した品種以外についての情報は、カタログや過去の「牧草と園芸」、当社ホームページをご覧ください。また、品種選定や栽培体系、圃場の管理方法に迷われることがあれば、お気軽にお近くの当社営業所もしくは研究農場にお問い合わせください。

※ 海外持出禁止（農林水産大臣公示有）